

短期米ドル社債オープン <為替ヘッジなし> (毎月分配型)

追加型投信／海外／債券

第60期末（償還日 2019年5月27日）	
償還価額	11,385円06銭
純資産総額	115百万円
第55期～第60期	
騰落率	△0.5%
分配金合計	0円

第55期 2018年12月27日決算 第56期 2019年1月28日決算
 第57期 2019年2月27日決算 第58期 2019年3月27日決算
 第59期 2019年5月7日決算 第60期 2019年5月27日償還
 作成対象期間（2018年11月28日～2019年5月27日）

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

このたび「短期米ドル社債オープン<為替ヘッジなし>（毎月分配型）」は、信託約款の規定に基づき、2019年5月27日をもちまして信託を終了し、満期償還いたしました。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として米ドル建ての社債等へ実質的に投資することで、安定した利息収益を確保するとともに、トータルリターンを獲得を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

◆運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

◆当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）については、以下の手順で閲覧およびダウンロードすることができます。

<閲覧方法>

<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ
フリーダイヤル 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

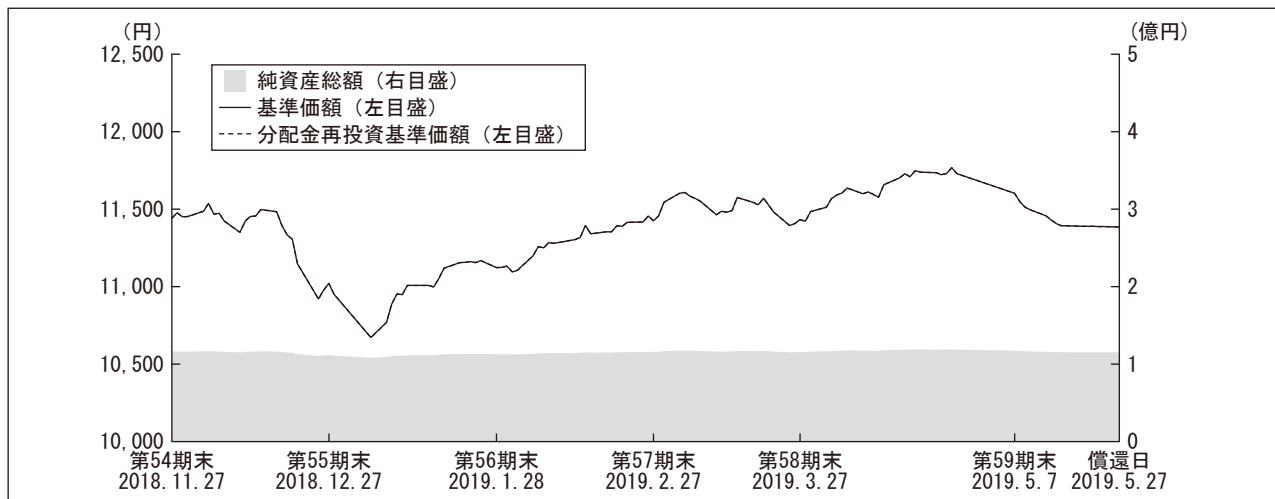


三井住友DSアセットマネジメント

（旧：大和住銀投信投資顧問）
 〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1
<https://www.smd-am.co.jp>

運用経過

【基準価額等の推移】



*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、作成期首の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第55期首：11,443円

償還日：11,385円06銭(作成対象期間における期中分配金合計額 0円)

騰落率：△0.5%(分配金再投資ベース)

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、Goldman Sachs Funds S.I.C.A.V. Goldman Sachs Short Duration Opportunistic Corporate Bond Portfolio Class IXO Shares (Cap MDist)への投資を通じて、主として米ドル建ての社債等へ実質的に投資を行いました。

(上昇要因)

BOMBARDIER INCやJAGUAR LAND ROVER、SPRINT CORPORATIONなどの組み入れがプラスに寄与したことが要因となりました。また、セクターレベルでは、コミュニケーション・サービスセクターや景気循環セクター(一般消費財)、資本財セクターなどへの投資がプラスに寄与したことが要因となりました。

為替市場では、米中貿易協議進展への期待感や世界的な金融緩和姿勢の広がりなどを受けた株価の上昇を背景に、2019年1月中旬から3月上旬にかけて円安・米ドル高となったことが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

DEAN FOODS COMPANYやADIANT US, LLC, UNITED STATES STEEL CORPORATIONなどの組み入れに加えてファンド全体の米国金利デュレーション*のヘッジポジションがマイナスに作用したことが要因となりました。米国の主要乳業会社であるDEAN FOODS COMPANYは事前予想を下回る決算内容や、米国内で長期的に牛乳の消費量が減少していることなどが嫌気されました。

為替市場では、2018年12月下旬から2019年の年明けにかけて、世界景気減速懸念の台頭や米国金融政策における利上げ継続姿勢への失望感を背景としたリスク回避姿勢の強まりから、大きく円高・米ドル安が進行したことが、基準価額の下落要因となりました。また、4月下旬から5月中旬にかけては、米中貿易摩擦激化への懸念から円高・米ドル安が進み、基準価額を押し下げました。

*デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い(大きい)ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

【1万口当りの費用明細】

項目	第55期～第60期		項目の概要
	2018年11月28日～2019年5月27日		
	金額	比率	
信託報酬	106円	0.930%	信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 作成期中の平均基準価額は11,361円です。
(投信会社)	(64)	(0.566)	ファンドの運用等の対価
(販売会社)	(40)	(0.350)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.013)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	0	0.000	その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(その他)	(0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	106	0.930	

*「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

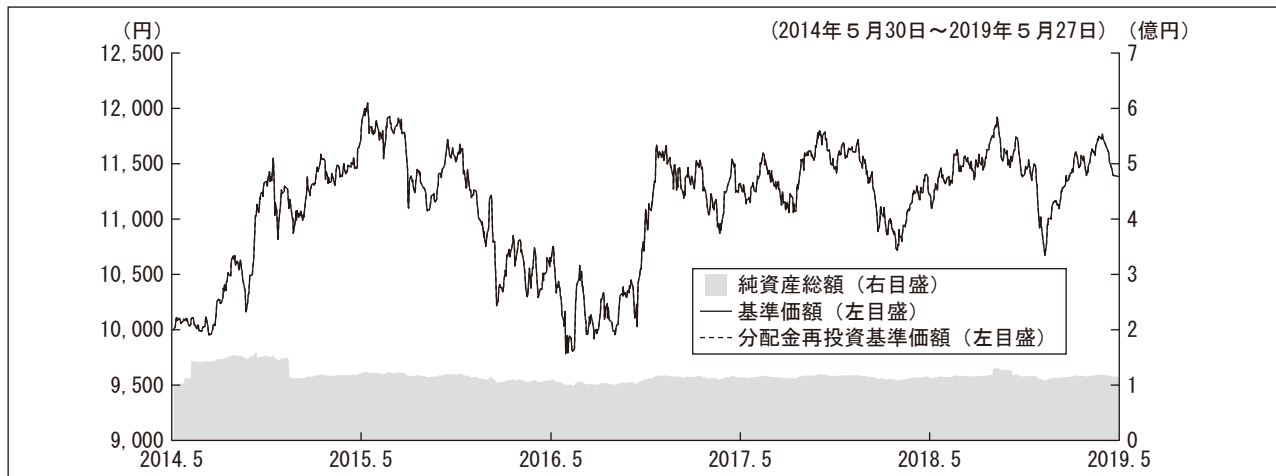
*作成期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む。)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

*各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

*各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

【最近5年間の基準価額等の推移】



*当ファンドの設定日(2014年5月30日)より表示しております。

*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を表示しております。

*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様ご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2014年5月30日 設定日	2014年11月27日 決算日	2015年11月27日 決算日	2016年11月28日 決算日	2017年11月27日 決算日	2018年11月27日 決算日	2019年5月27日 償還日
基準価額 (円)	10,000	11,297	11,538	10,940	11,475	11,443	11,385.06
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	13.0	2.1	△ 5.2	4.9	△ 0.3	△ 0.5
純資産総額 (百万円)	100	150	118	110	116	116	115

【投資環境】

当作成期の米国社債市場は、投資適格社債市場とハイ・イールド社債市場のリターンがともにプラスとなりました(米ドルベース)。

米国債利回りは前作成期末対比で、2年国債、10年国債はいずれも低下しました。作成期前半は米中の貿易摩擦や、世界経済の減速懸念、欧州における政治的な先行き不透明感などが利回り低下の要因となりました。作成期後半はFRB(米連邦準備制度理事会)をはじめ各国の中央銀行がハト派的な姿勢に転じたことなどが利回り低下の要因となりました。

社債市場は、特に2019年に入り中央銀行のハト派的な姿勢により一部のリスク資産にとって適温相場が続くとの期待などを背景に、投資適格社債、ハイ・イールド社債のスプレッドは前作成期末対比でいずれも縮小しました。

国内短期金融市場では、作成期初-0.30%近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、作成期を通じて-0.10%~-0.30%での動きに終始し-0.15%近辺で償還日を迎えました。

【ポートフォリオ】**■短期米ドル社債オープン<為替ヘッジなし>(毎月分配型)**

主要投資対象であるGoldman Sachs Funds S.I.C.A.V. Goldman Sachs Short Duration Opportunistic Corporate Bond Portfolio Class IX0 Shares (Cap MDist)を作成期を通じて組み入れました。その後、2019年5月の償還に向けて売却し、2019年5月27日に満期償還いたしました。

■Goldman Sachs Funds S.I.C.A.V. Goldman Sachs Short Duration Opportunistic Corporate Bond Portfolio Class IX0 Shares (Cap MDist)

当期のポートフォリオのリターンは、米ドルベースでプラスとなりました。2019年4月末時点での組入比率については、社債が約85%、現金等が約15%となりました。

■キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

※設定以来の運用経過につきましては、運用報告書(全体版)をご覧ください。

【ベンチマークとの差異】

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

【分配金】

収益分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせていただきます。
なお、第60期につきましては、償還のため、分配は行っておりません。

■分配原資の内訳

(1万口当り・税引前)

項目	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
	2018年11月28日 ~2018年12月27日	2018年12月28日 ~2019年1月28日	2019年1月29日 ~2019年2月27日	2019年2月28日 ~2019年3月27日	2019年3月28日 ~2019年5月7日
当期分配金 (円)	0	0	0	0	0
(対基準価額比率) (%)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
当期の収益 (円)	—	—	—	—	—
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	4,595	4,664	4,742	4,811	4,885

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

お知らせ

大和住銀投信投資顧問株式会社は、2019年4月1日に三井住友アセットマネジメント株式会社と合併し、三井住友DSアセットマネジメント株式会社となりました。

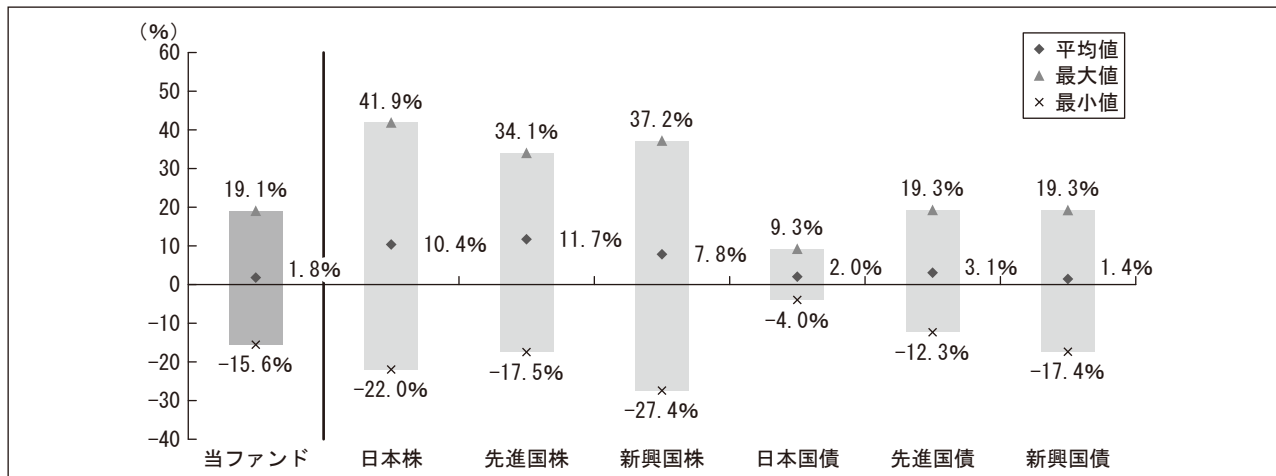
委託会社の合併に伴い、ファンドの委託者の商号ならびに公告の方法を変更することに伴う所要の約款変更を行いました。(2019年4月1日付)

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2014年5月30日～2019年5月27日(約5年)	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として米ドル建ての社債等へ実質的に投資することで、安定した利息収益を確保するとともに、トータルリターンの獲得を目指して運用を行います。なお、親投資信託であるキャッシュ・マネジメント・マザーファンド受益証券へも投資を行います。	
主要投資対象	当ファンド	<ul style="list-style-type: none"> Goldman Sachs Funds S.I.C.A.V. Goldman Sachs Short Duration Opportunistic Corporate Bond Portfolio Class IX0 Shares (Cap MDist) 投資信託証券 キャッシュ・マネジメント・マザーファンド受益証券
	Goldman Sachs Funds S.I.C.A.V. Goldman Sachs Short Duration Opportunistic Corporate Bond Portfolio Class IX0 Shares (Cap MDist)	主に米ドル建ての社債等
	キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	本邦通貨建て公社債および短期金融商品等
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。 ・Goldman Sachs Funds S.I.C.A.V. Goldman Sachs Short Duration Opportunistic Corporate Bond Portfolio Class IX0 Shares (Cap MDist)への投資比率は、原則として高位を保ちます。 ・実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 	
分配方針	<p>毎月27日(休業日の場合は、翌営業日)の決算日に、収益分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益(評価損益も含まれます。)等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p> <p>*分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。</p>	

【当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

当ファンド：2015年5月～2019年4月
 代表的な資産クラス：2014年5月～2019年4月



●上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*当ファンドと代表的な資産クラスのデータの期間が異なりますので、ご注意ください。

*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

*騰落率は直前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

<各資産クラスの指数について>

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX (配当込み)	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村証券株式会社
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)	FTSE Fixed Income LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P.Morgan Securities LLC

(注) 上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。

当該投資信託のデータ

≪当該投資信託の組入資産の内容≫

償還日現在、有価証券等の組み入れはありません。

【純資産等】

項目	第55期末	第56期末	第57期末	第58期末	第59期末	償還時
	2018年12月27日	2019年1月28日	2019年2月27日	2019年3月27日	2019年5月7日	2019年5月27日
純資産総額	111,654,991円	112,660,504円	115,648,737円	115,704,111円	117,410,783円	115,209,131円
受益権総口数	101,320,853口	101,285,021口	101,223,324口	101,202,890口	101,194,668口	101,193,302口
1万口当り基準価額(償還価額)	11,020円	11,123円	11,425円	11,433円	11,602円	11,385円06銭

* 当作成期間中における追加設定元本額は6,909円、同解約元本額は264,248円です。



三井住友DSアセットマネジメント